# 1．文化の中心「種子島」と「からいも」

種子島開発総合センター収蔵「大興銃」

西之表市指定文化財「ヨンシー踊」

種子島は、太古の昔から南島の中心であり、文化の中心地でした。種子島の周囲を流れる黒潮は、様々な文化を種子島に伝え、文化を育んできました。その代表格は、なんと言っても「鉄砲」であることに間違いありません。「鉄砲伝来」は、その後の日本の歴史を変えてしまうほどの大きな影響力がありました。

また、種子島は「民俗芸能の宝庫」といわれるほど、数多くの民俗芸能があります。西之表市指定文化財に指定されている「ヨンシー踊り」は、遠く琉球より江戸時代の終わりごろ種子島に伝わったのではないかといわれています。

そして、現在でも大切に生産されている作物も伝来してきました。

それこそが、今回の主役「カライモ」です。

カライモが、種子島に伝来したのは、1698年ごろでした。当時の島主種子島久基が琉球より取り寄せたという「カライモ」から物語は始まっていきます。

カライモは、品種によって、様々な芋、葉の形があり、品種の色も多岐多様である。

## カライモって、どんな食べ物？

**カライモは、九州をはじめ沖縄、南西に向けて亜熱帯地作物です！！**

- 干ばつ、台風などの自然災害が多い地域で生産が安定
- 粗放的な栽培でも生産性が高い夏操作物として重要
- 肥料や農薬投入量が少なく、環境への負荷が少ない
- 用途や加工利用の幅が広く、農業・食品関連産業を支える

## 日本の主要産地

1 鹿児島（37万4,000t）
2 茨城　（18万500t）
3 千葉　（11万100t）
4 宮崎　（9万3,900t）
その他（18万3,800t）

## 世界の主要産地

平成25年度かんしょの作付面積及び収穫量

1　中国
2　ウガンダ
3　ナイジェリア　　4　インドネシア
5　タンザニア　　6　ベトナム　・・・　12　日本

平成22年統計

～ カライモクイズ ～

**問題1**

「甘藷伝来」に貢献した種子島久基は、鎌倉時代から種子島を治めていた種子島家の島主です。では久基は、何代目の島主でしょうか？

答え　→　2のパネルを見てね！

### 種子島年表

| 西暦 | 年号 | 出来事 |
|---|---|---|
| 3 | | |
| 4 | 文明 | |
| 5 | | |
| 6 | | |
| 7 | 明徳 | 1279年　日本で初の**種子島**の開発権 |
| 8 | 明徳 | |
| 9 | 永和 | 永和年　種子島の北部が島津領となる |
| 10 | 永徳 | |
| 11 | | |
| 12 | | |
| 13 | 嘉慶 | 1387年　種子島氏の分家「中種子島」が種子島を統治 |
| 14 | 嘉慶 | 1392年　小時氏が新たに分家 |
| 15 | | 1394年　小川氏が「**種子島**」の名を名乗る |
| 16 | | |
| 17 | 永享 | |
| 18 | 永享 | 1439年　**鉄砲伝来** |
| 19 | 永享 | 1500年　**甘藷伝来** |
| 20 | 永享 | |
| 21 | 永享 | 1523年　伊東氏が種子島攻撃 |
| 22 | 天文 | 1526年　キリシタン受洗 |
| 23 | 天文 | 1528年　ルイス・デ・ポ　来島 |
| 24 | 天文 | 1543年　種子島氏が初めてヨーロッパ　来島 |

### 【カライモ】

甘藷（やつがいも）のこと。

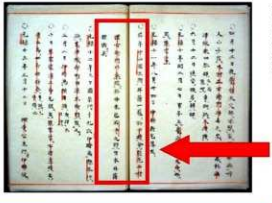
種子島では、カライモと呼ぶ。甘藷は、中国から琉球を経て種子島に伝来したことによる。当時、中国を「唐（からこ）の国」と呼んでいたのである。

### 【種子島】

鹿児島県内の人口の中で最も多く住民し、人口（約**33,000**人）は奄美大島に次いで**3**番目に多く、面積は**444.99km²**で、沖縄本島、奄美大島に次いで**3**番目に大きい。平成では、**10.5**％の海岸を持つ、総延長最深点は**282.6m**で、海側から見ると島が浮かびしかも見えない。

## 2．資料で見る「カライモ」の歴史

種子島家の歴史を記している「種子島家譜」には、以下のように記されています。



〈巻十二　十九代久基一より〉

在年（元禄十一・一六九八年）　中山国王　甘露一個を伊時（久基）に贈る　家老西村宿右衛門時泉に命じて吾が采邑石寺の野に植えしむ　日本甘藷の権輿なり

【意味】
元禄11年、琉球王から贈られた甘露を伊時（久基）が家老の西村宿右衛門時泉に命じて石寺で栽培させた。これが、日本の甘藷栽培の始まりである。

久基は、度重なる飢饉の救荒作物として、琉球で栽培されているカライモに関心を寄せてました。元禄11年（1698）3月、琉球王尚貞に慰霊して1個の菊贈を受け、栽培を命じる。カライモの栽培が可能と分かると、鳥肉の書及に尽力を尽くします。

以後、薩摩藩（鹿児島）はもとより日本全国に広まった。鹿児島藩山川の前田利右衛門の甘藷栽培は7年後。「甘藷先生」と呼ばれた青木昆陽の誕生は、この年です。

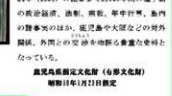
### 種子島家譜

種子島家初代の信基（平姓盛のひ孫）が鎌倉時代の頃に、種子、屋久、永良部等十二島の領主となって以来、27代守時の明治24年（1891）の配本まで約700年間の種子島の政治経済、法制、風俗、年中行事、島内の警備等のほか、琉球島中大隅などの対外関係、外間との交渉や南蛮と貿易等が記されている。

鹿児島県指定文化財（有形文化財）
昭和34年1月21日指定

### 琉球との交易

種子島と琉球は、古くから交易を行っている。それを示す資料がある。



一部抜大

琉球国司　尚貞王から、18代久時公へ菊紋授章（久基）が決まったことへのお祝いとして、太刀や上質の布などとともに贈答と薬種もれている。甘藷栽培前の時代なので、薬種酒（薬酒）かと推測される。

～ カライモクイズ ～

**問題2**

カライモの普及に尽力を付くした種子島久基を祀っている神社は、何神社でしょうか？

答え　→　3のパネルを見てね！

問題1の答え

**19代目**

W「開物伝説」の島主時尭説、14代目

種子島家歴代の島主

| 代数 | 島主名 | ふりがな |
|---|---|---|
| 初代 | 信基 | のぶもと |
| 2代 | 信式 | のぶのり |
| 3代 | 信真 | のぶまさ |
| 4代 | 真時 | まときと |
| 5代 | 時基 | ときもと |
| 6代 | 時光 | ときみつ |
| 7代 | 根時 | よりとき |
| 8代 | 清時 | きよとき |
| 9代 | 時長 | ときなが |
| 10代 | 幡時 | はたとき |
| 11代 | 時氏 | ときうじ |
| 12代 | 忠時 | ただとき |
| 13代 | 恵時 | しげとき |
| 14代 | 時尭 | ときたか |
| 15代 | 時次 | ときつぐ |
| 16代 | 久時 | ひさとき |
| 17代 | 忠時 | ただとき |
| 18代 | 久時 | ひさとき |
| 19代 | 久基 | ひさもと |
| 20代 | 久通 | ひさたつ |
| 21代 | 久芳 | ひさよし |
| 22代 | 久照 | ひさてる |
| 23代 | 久道 | ひさみち |
| 24代 | 久珍 | ひさみつ |
| 25代 | 久尚 | ひさたか |
| 26代 | 時丸 | ときまる |
| 27代 | 守時 | もりとき |
| 28代 | 時望 | ときもち |
| 29代 | 時邦 | ときくに |

# 3．カライモの神様とカライモ神社

## 種子島久基

**寛文4年(1664)～宝永元年(1741)**

**親:18代久時の子**

**子:19代久道　他**

**幼名:鶴熊鉄丸**

**初名:義時　・　伊時**

**通称:三郎二郎　・　左内　・　神正　・　号栖林**

**家統を継いだのは、宝永7年(1710)6月、46歳の時**

久基は、文武ともに優れ、多くの論説から抜きんでていた。そのすでも、カライモをいち早く島内に広め、島民の飢えを凌いだ功績はとても大きい。

幼年、久基は名を「鶴熊」と改め「鶴熊神社」に祀られている。人々は、久基のことを「いも敬福」「カライモの神様」と称し、栖林神社のことを「カライモ神社」と名づけ、その功績を今に伝えている。

## 種子島久基の功績

### カライモ栽培に尽力

カライモは、1609年で島内に広がったとされ、その後、薩摩に伝播したとされる。寛永18年（1741）に、君主まで昇進する者が十会芳人であったが、飢饉はカライモによって、死を免れる者が多かったといわれている。

### 製糖、製鉄の促進

製糖、製鉄は近代型産業の時から始められている。中に製鉄は、幾利（現在：幾利武道時間）に製鉄所を作ることにより、ハンに伝播して流所への拡大を図った。種子島は、鉄砲産業などが盛んであり、海岸が多かった。

### その他

- ハゼの栽培
- 蝋の生産
- 製薬、畜産
- 麻糸・紙漉

・・・等

## 大的始式

栖林神社では毎年1月11日午後6時から大的始式を行っている。栖林神社の弓場で直径5尺8寸(1m75cm)の大的を射て、その年の悪疫災難などを払い清め、島内の平穏・無病息災を願願する古式正しい行事である。

12代農主忠時が明応9年（1500）弓の指南役として招いた武田城後守光長が延文亀元年(1501)宮中で行われた禅的始式を伝えたのがその起源であり、すでに500年以上にわたり受け継がれている。

**鹿児島県指定文化財（無形民俗文化財）**
**平成14年1月11日指定**

## 種子島家墓地

**御墓墓地**

**御拝墓墓地**

栖林神社のすぐ横には種子島家墓地「御拝墓墓地」があり、歴代の種子島家島主を祀っている。八坂神社の北端には、同じく種子島家墓地「御墓墓地」もあり、2カ所とも市指定文化財になっている。

**西之表市指定文化財（史跡）**
**昭和14年1月15日指定**

問題2の答え

**答えは A**

**栖林神社**

【祭神】種子島久基（号は栖林）

栖林神社は、文久3年（1863年）宝寿院が久基公の遺徳功績の数々の徴徴に感謝し、その功績を後世に伝えるため本殿寺の跡地（現在：熊毛実業高校）に創建され、その後、現在地に移転されている。

**【松寿院】**

松寿院は宝永9年（1797）26代義厚（よしあつ）の次男として鹿児島に生まれ、文政8年（1825）29代島津斉興（なりおき）となる久道と称し、32歳で死亡（しぼう）し、それ以降は124代久修（ひさなが）島主となるまで、島民のために尽くした貢献（こうけん）し続けた。

～ カライモクイズ ～

**問題3**

甘藷が伝来した際、種子島で初めて栽培が始まります。その場所は、西之表市のどこの地域でしょうか？

答え　→　4のパネルを見てね！

# 4．大瀬休左衛門とカライモ栽培

久基よりカライモの栽培を命じられたのは、下石寺の長氏、大瀬休左衛門でした。休左衛門は、苦労の末、カライモの栽培に成功。カライモは、これを期に島内、そして全国へと広がっていきます。写真は、島内で初めて休左衛門が栽培したという畑です。現在も、子孫である大瀬家が大切に守っています。

この畑を中心に作られたカライモは、毎年10月18日に久基を祀る植林神社に献上されます。

同じ時期、下石寺の観光協会では、大瀬休左衛門夫婦の墓の前に今年とれたカライモを山盛りにして、豊作祝いと先祖の感謝を込めて供えます。

以前は、大瀬家だけ行っていましたが、現在は地域住民全員で行っています。

大瀬休左衛門夫婦の墓に
祀ってあるカライモ

## 大瀬良行さんの話

当時、カライモの植付を命じられたとき、大変な重荷だったのでは、と思うことがあります。

当時、カライモの植付を命じられたとき、大変な重荷なことである一方、初めての作物を栽培することに恐怖も伴わないほど不安だったのではないでしょうか。それでも、先祖はカライモの栽培に成功し、そこから全国に広がったといわれると、とても誇りに思います。先祖が残してくれたこの功績を私たちも次の世代に伝え続け、墓や墓を守っていきたいと思います。

## 日本甘藷栽培初地之碑

下石寺神社すぐ近く(国道58号線沿いに日本甘藷栽培初地之碑がある。

**石碑の文**

「本邦甘藷の栽培には薩摩に始が種子島に創まり、種子島は我が下石寺を以て試作の地と為す。故に題して日本甘藷栽培初地之碑と曰ふ。初め栖林氏、治を図るや、志願民に在り、嘗て殖人より甘藷の利を聞き、所聞して之を求む。元禄十一年度寅三月。中山王尚貞 ･撰を碑ろ･･･」

## 大瀬休左衛門夫婦の墓

下石寺地区の共同墓地の一角に大瀬休左衛門夫婦の墓がある。今でも、子孫の方々が、お墓に花を供え大切に管理している。

久基が後世作物として取り寄せた甘藷を、休左衛門が密心の末、下石寺の地で元禄19年（1698）日本で初めて栽培に成功させた功績に対し感謝として久基公から下賜されたものである。

以後、甘藷の栽培により種子島民飢餓から救われることとなった。

鹿児島県指定文化財（地域民俗文化財）
平成14年3月28日指定

問題3の答え

**下石寺地区**

**【大瀬休左衛門】**

大瀬休左衛門は、宝永3年（1623）生まれ、農業を生業とし、作る農業も営んでいた。城下町地で中内の人間を一身に集め、久基公に知為を得ていた。甘藷栽培の時は、すでに70歳の高齢であった。元禄8年、80歳で死亡。

**【久基より与えられた褒賞】**

- 「大脇」という姓
- 羽織一式
- 休左衛門夫婦の墓埋葬（生前に作る墓）

※ 当時、農民の姓を与えられることは、武士身分になることはなかった。それだけ、休左衛門のカライモ栽培成功の功績は大きかったことが伺える。

## ～ カライモクイズ ～

**問題4**

カライモは、ある植物と同じ科です。それは、次の内どれでしょうか？

1．ヒマワリ　　2．ヒルガオ　　3．バラ

答え → 5のパネルを見てね！

# 5. カライモのルーツを探る

## 起源を探して

カライモの起源は、現在のアンデス山脈（エクアドル、ペルー海岸にかけて）とされています。その頃、歴史中に伝播したとされていますが、詳しいルートは分かってません。伝播ルートが存在します。

ルート1　クラマ・ルート　・・・　ヨーロッパ人が中南米にくる前から伝播した
ルート2　バタタス・ルート　・・・　1492年コロンブスがヨーロッパに持って帰った
ルート3　カモテ・ルート　・・・　スペイン人がフィリピンに伝えた

詳しいルートは分かっていない

## アジアへの伝播

カライモのアジア伝播は、大航海時代のポルトガル、スペインが影響したとされています。特に、スペインの植民地だったフィリピンでは、メキシコより直接運び込まれたとしられれ、後に16世紀末中国に伝播しました。（特に中国南部では環境に適高も急速に普及）

## 琉球へ伝来

**1605年　琉球（現在：沖縄県）に初渡来**

琉球へは芋饅頭（かも）、中国福建省から北谷間の野国（現在：嘉手納町）に持ち帰ったとされています。帰農の地域だった儀間真常の功績とあり、15年間で琉球はほぼ広がったとされる。

## カライモの呼び方

カライモは、世界各国ではく下のように呼ばれています。

| 言語 | 表記 | 日本語読み |
|---|---|---|
| 日本語 | 甘藷（サツマイモ） | カンショ |
| 英語 | Sweet potato | スイーツ ポテト |
| 中国語 | 红薯 | ホンショウ |
| スペイン語 | Camote | カモテ |
| ポルトガル語 | Batata doce | バタ タ ドス |
| オランダ語 | Zoete aardappel | ズッテ アーダポ |
| 韓国語 | 고구마 | コグマ |
| インドネシア語 | Ubi jalar | ウ ビジャラ |
| ベトナム語 | Khoai lang | ク アイラン |
| ヒンドゥー語 | शकरकंद | ミン タール |

## カライモの学名命名の歴史

カライモの学名は、**イポメア・バタータス**です。しかし、この学名になるまで、カライモは多くの学名によって、いろいろな学名がつけられました。

**～ 学名命名年表 ～**

**1753年　分類学の創始者リンネ(Linnaeus)によって、分類学的に識別**
**コンボルブラス・バタータス(Convolvulus batatas)と命名**

**1784年　リンネと弟子ツュンベリー(Thunberg)によって、**
**コンボルブラス・エデュリス(Convolvulus edulis)とされる**

**1834年　学者ショウジー(Choisy)が、カライモと野菜的に類似する**
**植物群をDatatas群とする概念を表現し、バタータス・エデュリス**
**(Batatas edulis)とゆ名。**

**現在　分類学が進展し、イポメア・バタータス**
**(Ipomoea batatas(L.)Lam)とされる。**
**日本語で"張性で地下部にイモができる植物"という意味**

**現在の学名**
**イポメア・バタータス　(Ipomoea batatas(L.)Lam)**

- Ipomoea　サツマイモ属の属種
- Batatas　"イモ"という意味が含まれる
- (L.)　リンネの名前の頭文字
- Lam　ラマルクの名前の頭文字

※ ラマルク (Lamark) 氏は、リンネ門(Linnaeus)に対抗するサツマイモ、Ipomoea属に挑んだ学者。

## ～ カライモクイズ ～

### 問題5

日本初栽培地として知られる種子島ですが、種子島より古い時代に栽培されたと記録された県があります。何県でしょうか？

※ 沖縄県ではありません。沖縄県は当初、「琉球国」という日本とは違う国でした。

問題3の答え

## 2. ヒルガオ

**カライモは、ヒルガオの仲間です。**
**現在のカライモ品種改良でもヒルガオは使用されています。**

**【ヨーロッパにはカライモはない？】**

カロ・ギは、金銭を払って、しの育たないので、ヨーロッパでは、生産されていない。（ポルトガルの一部の地域）
※ ヨーロッパは寒い地区で育つジャガイモのみが生産されている

**【野菜総管】**

野菜総管（ひ、菜手紙官）に先生れ育つ。生態について、ほとんど明らかになっていない。中国に貴ヤリ生を神石帝を結婚ふる人々を祭った。「シン女王」（シンは「イモ」のこと）と呼ばれ、「沖縄産業の恩人」として崇えられている。

**【リンネ】**

スウェーデン出身の科学者。「分類学の父」といわれる。

植物等と動物を個別・整理する方法を発明。その分類学者に基づき約7700種の植物と4400種の動物を命名した。

答え　→　6のパネルを見てね！

# 6. カライモの全国への広まり

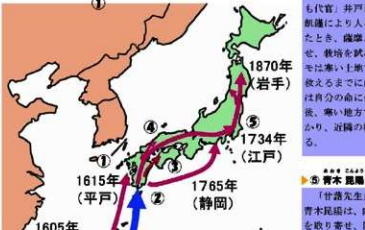
## 日本各地の広まり

### ① ウイリアム・アダムズ

長崎県の平戸には、種子島よりも早く、カライモが栽培されたという記録がある。イギリス人のウィリアム・アダムスが種球より お土産として買ってきたカライモを、1615年、平戸のイギリス商会館長コックスが試しに栽培したと日記に書かれている。しかし、この栽培されたとされる甘藷は、記録上に見られるだけで、そこから地域に広まった様子はない。

### ② 前田 利右衛門（まえだ りうえもん）

鹿児島県の山川町出身の前田利右衛門は琉球を訪れた際、琉球の地で栽培されていた甘藷に感銘し、1705年、薩摩に持ち帰って栽培に取り組み栽培に成功させた。鹿児島の乾燥したやせた土地に育つカライモは、台風にも強く、鹿児島全土に重要作物として広まった。その後サツマイモとして、全国に広がったとされる。利右衛門は、「甘藷翁」と感謝の気持ちをこめて地元の人々に呼ばれている。




### ③ 下見 吉十郎（ゲミ キチジロウ）

愛媛県の瀬戸内海にある大三島出身の下見吉十郎は、1711年、薩摩を旅をした際、カライモと出会い、郡里で栽培に取り組んだ。カライモは収穫率が多い品種だったため、近隣の島々に広がっていく。この時代、各地で飢饉が起こり、餓死、*間引きにより多くの人々が亡くなった。しかし、大三島だけは、カライモのおかげで逆に人口が増加している。古十郎は「甘藷地蔵」と呼ばれ、人々の暮らしを救している。

*間引き…親が赤ん坊を殺していまうこと。

### ④ 井戸 正明（いど まさあき）

島根県にも甘藷を伝えた恵人（いも代官）井戸正明という人がいた。飢饉により人々の生活が苦しんでいたとき、薩摩よりカライモを取り寄せ、栽培を試みる。しかし、カライモは寒い土地では育ちにくく、収穫を挙げるまでには至らなかった。正明は自分の命に代え農民に尽くた。死後、寒い地方でも育つ栽培法が見つかり、近隣の村々に伝わったとされる。

### ⑤ 青木 昆陽（あおき こんよう）

「甘藷先生」として名の知られる青木昆陽は、薩摩の国よりカライモを取り寄せ、関東を中心に「サツマイモ」の名で関東中心に広めた。飢饉の救護策として将軍徳川吉宗より命を受け、1735年、最初のカライモの栽培に成功。この功績により、カライモは一気に加速して、全国に広まる。昆陽は、その後、蘭学の基礎を築いた学者としても知られるようになる。

## ～ カライモクイズ ～

**問題6**

西之表市が種子島からいも伝来300周年記念で廊舟をかけ、市民がほとんど知っているカライモソングがあります。そのタイトルはなんでしょうか？

答え → 7のパネルを見てね！

問題7の答え

**長崎県**

日本におけるカライモ初伝来地は、現在でも多く存在します。長崎、鹿児島、愛媛など。ただ、残念ながら詳細を記す資料が残っていません。また、その場所で栽培された日本に広がったのかといわれると疑問が多く残ります。ただ、甘藷は救護の救護食として、鹿児島起点からカライモが全国に広まっていったことは間違いありません。

作物学者の戸田義次から
羽生俊治宛の手紙
昭和19年

羽生氏の質問への返答として、甘藷伝来について既存の考察を説明しているもの。青木昆陽先生が甘藷に関して有名なのは、関東圏に於いて栽培普及の功績を残したからであり、伝来そのものの創始者ではない。様々な説が有るが、どれも明白ではない。私は南海の漂流説であり、歴史に関しては不勉強だが、久留米にもとより横々な発想が、大変な苦労をして甘藷を普及させたことを評に載っている。という内容。

## 7. 現在のカライモ事業

市民体育祭で「からいもくん」を踊る園児たち

### 種子島からいも伝来300周年

西之表市では、平成11年に「市政施行40周年・からいも伝来300周年記念式典」を行い、からいも関連の様々なイベントを開催しました。

この時、からいもソング歌詞を全国に公募し、最優秀賞に選ばれたのが「からいもくん」です。この歌は、西之表市の代表曲として、市民体育祭などで西之表市内の園児たちが踊るマスゲームの曲として使われています。現在でも、西之表市民に浸しまれている曲の1つとなっています。

### 種子島のブランド "安納いも"

安納いもは、現在、種子島を代表するカライモです。

安納いもの特徴として、皮は赤みがかり、甲やかなオレンジ色をしています。ゆっくり時間をかけて焼くとより一層美味しくなり、まるでクリームのような食感になります。糖度は、生の状態で16度にもなる安納いもですが、とても低カロリーで、カロテンや食物繊維をたっぷり含まれています。

### 安納いもブランド推進本部

消費者の皆様に安心・安全で、おいしい安納いもをお届けするために、生産者および西之表市・中種子町・南種子町の3市町と農児島県、及種子島氏による「安納いもブランド推進本部」を平成22年7月29日に設立しました。栽培技術の向上はもとより、品質基準を基四で統一して管理・生産する取組を行っています。

### 安納いもスイーツサミット

現在、安納いもを使った町おこしも行っています。

安納いもスイーツサミットは、平成24年に始まった安納いもを使用した料理コンテストです。西之表市内の店舗が期催期間限定で販売し、市民一人一人の投票によりグランプリを決めます。

2014年グランプリ
リーフパー　ドルフィンさんの
【安納いも生キャラメル】

今年は、どこの料理がグランプリになるのでしょうか？



公認キャラクター　べにくん　こがねちゃん

問題6の答え

### からいもくん

作詞　宮迫 美幸氏　　作曲　渋谷 嘉明

①からいもイモイモいもいもだ
　からいもイモイモいもいもだ
　ぼくは　からいもいもいもだ
　名前がからいもだからって
　からっぽはいよ
　からっぽはいよ　甘いもん
　からいもイモイモいもいもだ
　からいもイモイモいもいもだ

②からいもイモイモいもいもだ
　めからいもイモイモいもいもだ
　ぼくは　からいもいもいもだ
　名前がからいもだって
　からっぽじゃないよ
　からっぽじゃないよ　つぶってる
　からいもイモイモいもいもだ
　からいもイモイモいもいもだ

③からいもイモイモいもいもだ
　からいもイモイモいもいもだ
　ぼくは　からいもいもいもだ
　顔から出たから　からいもだ
　小い頃の
　小い頃の　味がする
　からいもイモイモいもいもだ
　からいもイモイモいもいもだ

④からいもイモイモいもいもだ
　からいもイモイモいもいもだ
　ぼくは　からいもいもいもだ
　たとえどこいっしょにゃったかだ
　今日も　からいも
　今日も　からいも　おいしいよ
　からいもイモイモいもいもだ
　からいもイモイモいもいもだ

**クイズは、これで終わりです！**
**君は、何問正解できたかな？**